

人間文化研究機構公開ワークショップ 【日中経済関係の構造的変化と今後の課題】

主催：愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）

日時：2013年6月6日（木）14：00～17：40（13:30開場）

場所：愛知大学名古屋校舎厚生棟3階 W31・32 会議室

後援：（独）科学技術振興機構（JST）中国総合研究交流センター
（社）中部経済連合会、東海日中貿易センター

使用言語：日本語・中国語（日本語通訳あり） 定員：50名 要申込 聴講無料

【開催趣旨】

日中関係は混迷の度合いを深めています。日中双方では新政権が誕生したにもかかわらず、まだ事態打開の糸口が見つかっていません。かつて「政冷経熱」とよばれた日中関係は、「政冷経冷」に陥ってしまう可能性はないか？また、高度成長から減速局面に入った中国経済の構造的変化が日中経済や日中ビジネスに与える影響はなにか？この度、北京大学経済学院副院長で世界銀行技術援助プロジェクト評価委員や国家開発銀行専門委員などを務める章政教授、および同学院の周建波教授をお招きし、今後の中国経済の展望を行います。北京大学経済学院は100年の歴史を有し、中国における経済学教育の元締めであり、卒業生には李克強首相や林毅夫前世界銀行副総裁兼任チーフエコノミストなどを輩出しています。

【趣旨説明・ご挨拶】

高橋五郎（愛知大学国際中国学研究センター所長・教授）

橋本俊幸（科学技術振興機構（JST）中国総合研究交流センター参事役）

【基調講演】

章 政（ZHANG Zheng）（北京大学経済学院副院長）

「中国経済の構造的変化と諸問題」

周建波（ZHOU Jianbo）（北京大学経済学院教授）

「新体制下の中国経済の展望と今後の課題」（日本語通訳あり）

【研究報告】

高橋五郎 「日中経済関係の構造的変化と諸問題」

李 春利（愛知大学経済学部教授・ICCS運営委員）

「日本側からみた中国経済の展望と今後の課題」

【全体討論】 パネラー：高橋五郎、章政、周建波、李春利

司会：大澤正治（愛知大学経済学部教授） 阿部宏忠（愛知大学国際ビジネスセンター長・准教授）

■申込方法：氏名（フリガナ）、所属、住所、電話、emailをご記入の上、EメールまたはFAXでお申込みください（書式任意）。お申込み頂いた後、ご連絡いたします。※先着順のため、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。お問い合わせ TEL052-564-6120（9時-17時）

■申込締切：5月30日（木） ■申込先：愛知大学国際中国学研究センター〒453-8777 名古屋市中村区平池町4-60-6 FAX 052-564-6220 E-mail iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp アクセス <http://www.aichi-u.ac.jp/profile/06.html>（名古屋駅から徒歩12分、あおなみ線ささしまライブ駅から3分）